



病院の概要

- 病床数 628 床
- 医師数（研修医を除く）279 名（うち指導医数 81 名）
- 研修医数 1 年目 28 名 2 年目 28 名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学・岩手医科大学・金沢大学・杏林大学・群馬大学・埼玉医科大学・札幌医科大学・自治医科大学・信州大学・千葉大学・東海大学・東京医科大学・東京慈恵会医科大学・東京女子医科大学・東邦大学・東北大学・獨協医科大学・富山大学・名古屋大学・新潟大学・日本医科大学・日本大学・弘前大学・福島県立医科大学・藤田保健衛生大学・北海道大学・宮崎大学・山梨大学・琉球大学
- 診療科 総合診療科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 内分泌代謝科 血液科 リウマチ膠原病科 腎臓内科 脳神経内科 小児科 放射線科 病理診断科 救急科 一般・消化器外科 呼吸器外科 心臓血管外科 脳神経外科 整形外科・泌尿器科 耳鼻咽喉科 眼科 産婦人科 皮膚科 形成外科 麻酔科
- 1 日平均外来患者数 1416 名 ● 1 日平均入院患者数 535 名
- 主な認定施設 救急救命センター、労災指定病院、災害拠点病院、エイズ拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター



研修プログラムの特色

創立以来、総合医養成を主眼としたプログラムを全国でもいち早く取り入れ、一貫してスーパーローテーション方式の研修実績を積み上げてきました。Common disease の研修を決しておろそかにすることはなく、稀有な疾患や最先端の医療技術を駆使した高度医療を必要とする症例にいたるまで多彩な疾患の診療に当たっています。一般プログラムは、総合医学オープン、内科、外科、救急、外科系専門の 5 コースから選択できます。将来、皆さんが、どの専門診療科を専攻することになっても、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための研修構成になっており、5 つの特色があります。

- (1) 厚生労働省指定の必修分野に加えて、麻酔科研修を必修としました。
 - (2) 全ての臓器別内科と総合診療科を研修します。
 - (3) 地域医療と一般外来を並行研修の 8 週間とし、Common disease の外来診療を十分に経験します。
 - (4) 研修期間を通じて週 1 回の救急研修を継続することで、初期診療能力の足腰を鍛えます。
 - (5) オプションは、皆さんが希望する研修内容を個別に取り入れるように柔軟に対応します。
- 豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。



プログラム 例 一般研修プログラム（募集定員 24 名）総合医学オープンコース

1 年目▶	オリエンテーション	救 急 (8 週)	内科 1 (8 週)	内科 2 (8 週)	内科 3 (8 週)	内科 4 (8 週)	外 科 (8 週)				
2 年目▶	精神科 (4 週)	地域・一般外来 (8 週)	産婦人科 (4 週)	麻酔科 (4 週)	小児科 (8 週)	オプションA (4 週)	オプションA (4 週)	オプションA (4 週)	オプションA (4 週)	オプションA (4 週)	オプションA (4 週)

○ローテーションは順不同です。 ○採用後に行うオリエンテーション終了後は、第 2 クールのローテーションでの研修を開始します。
 ○救急科はブロック研修に加え、週 1 回の日当直研修を通年で実施します。
 ○オプション A は自治医科大学附属さいたま医療センターの診療科から選択します。
 (「総合医学オープンコース」以外のプログラム・コースには、協力病院での研修も選択できる「オプション B」の研修期間があります。)



研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1 年次: 約 42 万円 / 月 2 年次: 約 48 万円 / 月 (時間外手当含む)
 賞与 (1 年次: 約 42 万円 / 年 2 年次: 約 67 万円 / 年)
- 諸 手 当 ▶ 地域手当、医師手当、日当直手当、時間外手当、期末手当
- 保 険 ▶ 日本私立学校振興・共済事業団 (健康保険・年金)、雇用保険、労災保険
- 勤務時間 ▶ 8 時 30 分～17 時 15 分
- 当 直 ▶ あり (約 4 回 / 月)
- 休 暇 ▶ 有給休暇 (1 年次: 15 日、2 年次: 20 日)
 土・日曜日、祝日、年末年始、夏期休暇 等
- 宿 舎 ▶ あり

主な臨床研修協力病院 協力施設



- ・さいたま市民医療センター
- ・さいたま赤十字病院
- ・埼玉精神神経センター
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・順天堂越谷病院
- ・大宮厚生病院
- ・自治医科大学附属病院
- ・秩父市立病院
- ・国保町立小鹿野中央病院
- ・JCHO さいたま北部医療センター
- ・秩父市大滝国民健康保険診療所
- ・南魚沼市市民病院



当院の魅力

総合医療と専門医療の一体化とその実践を目指します

自治医科大学附属さいたま医療センターは、さいたま市及びその周辺を含む埼玉県中央部における中核医療施設として市民病院的な役割を担っているとともに、大学病院として高度専門医療の提供も重要な責務としています。

開設当初は自治医科大学卒業生による総合診療の基幹病院としての役割と急性期循環器疾患に対する高度先進医療の提供を中心としていましたが、現在では全ての専門分野において最先端の高度医療を提供する施設となりました。しかし、設立目的の1つである総合医療の実践と総合医の育成についての努力も脈々と続いており、大学病院では経験することの少ない所謂 Common disease の診療も決しておろそかにすることはなく、また一方では大学病院として一般の市中病院では診られない稀有な疾患や最先端の技術を駆使した高度医療を必要とする症例に至るまでの多彩な疾患の診療にあたっております。

当センターでの研修は、長年の地域医療の経験に基づいた総合医療の基盤に立つ指導と、それに続く高度専門医療の研修を可能にしていることなど多くの特徴があります。中でもそれぞれの専門領域で第一線に立つ専門医が、本学の建学の精神に基づき、総合診療の重要性を理解してそれぞれの専門領域という壁を立てずに研修指導に当たっていることが最も大きな特徴です。

また、さらに良質な研修を提供できるように、意欲のある若い医師の期待に応える研修体制の改善に努力を続けております。来年の春に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



研修責任者から message



卒後臨床研修室長
菅原 斉

入職時には、シミュレーション、シャドーイング、電子カルテ、ICLS などの実習からなるきめ細かなオリエンテーションがありますので、臨床研修を円滑に開始できます。このような特色あるプログラムによって、「患者にとって最善をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とそれを実践する幅広い医学知識と技能を有し、深い人間性に基づいた優れた臨床能力を発揮できる医師を養成していきます。

これらの研修プログラムは、卒後3年目以降の専門研修プログラムとも連動しており、各専門医の取得だけでなく、大学院へ進学し、学位(医学博士)を取得することも可能です。

当センターの研修医は、全国から集まります。様々な情報を研修医間でも共有し、卒後臨床研修室との意見交換を通じて研修プログラムの見直しを行っています。

豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。



先輩研修医から message



研修医2年目
齊間 至成

当センター最大の魅力は、「研修医に対する教育がしっかりしていること」、この一言に集約されると思います。優秀で教育熱心な指導医が多く、手厚い指導を受けることができます。研修医が presentation をする機会が多く、Fujimoto 客員教授の来院時には英語で症例提示をする機会もあり、将来必要になるスキルが初期研修のうちに会得できる環境が整っています。

当センターは大学病院らしい要素だけではなく、市中病院らしい要素も持ち合わせています。救急外来では指導医の監督の下、研修医が主体的に診療しており、手技の機会にも恵まれています。初期研修医でこれほど手技が経験できる大学病院はさほど多くないと思います。

学問や診療科の垣根が無い当センターで、医師として最初の一步を踏み出しませんか。百聞は一見に如かず。是非見学にいらしてください。



女性医師支援コーナー

次世代を担う医師のキャリア形成が出産・育児等により中断されることがないように就業継続のための短時間勤務制度があります。全職員対象の育児短時間勤務(所定勤務時間内において30分単位で2時間まで勤務時間を短縮)と、医師対象の短時間勤務(週20時間勤務。午前・午後をそれぞれ4時間とし、週20時間になるよう組合せ)があります。2019年12月1日現在も7名の女性医師が短時間勤務制度を利用しています。また、職員の子の育児を支援するため、院内保育所、病児保育所を設けています。更に、育児中は(申請により)当直を免除するなど配慮しています。また、センター一丸となって、「医師の働き方改革」に取り組んでいます。



連絡先 自治医科大学附属さいたま医療センター

卒後臨床研修室

〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847

TEL ▶ 048-648-5225 (直通) FAX ▶ 048-648-5166

E-mail ▶ rinshoukenshu2@omiya.jichi.ac.jp

URL ▶ <http://www.jichi.ac.jp/center/sotsugo/index.html>

アクセス ▶ JR 大宮駅東口からバスで約10分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※レジナビフェアに埼玉県ブースで出展しています(3月、9月)。

※研修内容説明会を開催しています(7・8月)。

※病院見学は随時受け付けています。当センターホームページ(卒後臨床研修室のページ)をご覧ください。